



2021年11月8日

各 位

会社名 窪田製薬ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役会長、社長兼最高経営責任者
窪田 良
コード番号 4596 東証マザーズ
問合せ先 広報・IR部
(TEL : 03-6550-8928 (代表))

AAO (米国オプトメトリー学会) で学術ポスター掲載のお知らせ

窪田製薬ホールディングス株式会社(本社：東京都千代田区、以下「当社」)は、当社の100%子会社クボタビジョン・インク(本社：米国ワシントン州、以下、「クボタビジョン」)が、2021年11月4日(米国時間)に米国ボストンで開催された米国オプトメトリー学会(American Academy of Optometry Academy 2021 Boston、以下「AAO」)にて、現在開発中の「クボタメガネ」の研究データを「Effects of programmable projected defocus on ocular biometrics using a wearable device」と題し、学術ポスターを掲載いたしましたことをご知らせいたします。

学術ポスターでは、2020年8月25日に当社リリースにて発表した概念実証試験の結果を紹介しました。この試験では、18歳～35歳までの25名の近視傾向のある被験者が、クボタメガネテクノロジーを用いたウェアラブルデバイスを数時間装着し、眼軸長(角膜から網膜までの長さ)に与える効果を検証しました。

AAOは、世界最大級のオプトメトリーの学会です。1922年に設立され、アイケアおよび視覚研究を教育プログラム、補助金、機関誌(Optomety and Vision Science)によって高めていくことを目的としています。オプトメトリーの主な研究者、教授、開業医のほとんどがAAOの会員です。4日間にわたり開催され、世界の主なドクターによる約450時間の講義、勉強会、科学的発表、ポスター発表が行われました。

眼科医であり、当社の会長、社長兼最高経営責任者である窪田博士は、この度のAAOでの学術ポスター掲載にあたり、次のように述べています。

「クボタメガネの発展には、オプトメトリストの協力が必要不可欠です。世界各国から、優秀なAAO会員が集まる本総会に学術ポスターを掲載できたことを嬉しく思います。今後も世界に広くクボタメガネが認知されることを期待しています。」

窪田製薬ホールディングス株式会社について

当社は、世界中で眼疾患に悩む皆さまの視力維持と回復に貢献することを目的に、イノベーションをさまざまな医薬品・医療機器の開発及び実用化に繋げる眼科医療ソリューション・カンパニーです。当社100%子会社のクボタビジョン・インク(米国)が研究開発の拠点となり、革新的な治療薬・医療技術の探索及び開発に取り組んでい



す。当社独自の視覚サイクルモジュレーション技術に基づく「エミクススタト塩酸塩」においては、糖尿病網膜症およびスターガルト病への適応を目指し研究を進めております。また、網膜色素変性における視機能再生を目指す遺伝子療法の開発や、在宅・遠隔医療分野（モバイルヘルス）における医療モニタリングデバイス（PBOS）、ウェアラブル近視デバイスの研究開発も手掛けております。

（ホームページアドレス：<http://www.kubotaholdings.co.jp>）

免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。

本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。

本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定（一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません）に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。